

■米国：ケンタッキー州議会上院で原発建設の禁止を撤廃する法案が通過

米国ケンタッキー州はこれまで原子力プラントの建設を禁止していたが、それを撤廃する法案が州議会上院を通過した。ケンタッキー州では、連邦政府による放射廃棄物の最終処分場が完成するまで原子力プラントの建設を禁止する法が1984年に制定されている。今回の法案はそれを撤廃するもので、州上院議会を賛成27反対10で通過した。ただし下院の通過は難しいとの意見も出ている。ケンタッキー州では1963年から低レベル放射性廃棄物処分場の操業が開始されていたが、汚染された水が処分場の敷地外に流れだしていることが発見され1977年に操業を停止した経緯がある。